

# 「安全はお金で買えぬ」

## 40年超運転

### 市民団体 原発再稼働反対知事に訴え

関西電力が40年超運転を旨とする原発3基を巡り、県内外の市民団体のメンバーらが7日、再稼働への慎重な判断を求める陳情書などを杉本達治知事と畑幸幸県議会議長に宛てて提出した。メンバーは「50億円の交付金が支出されるといっても安全はお金で買えない。きちんと議論してほしい」などと訴えた。

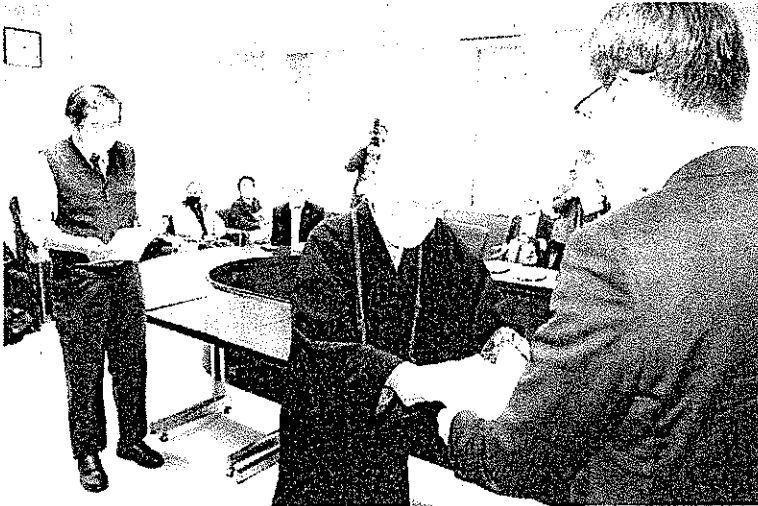
40年超原発を巡っては6日、国が美浜、高浜両原発に関する最大計50億円の交付金を新たに出す方針を提示したことを受けて、杉本知事が畑議長に県議会での議論再開を要請していた。

この日、メンバーらが提出した文書では、

杉本知事に対して、事故時の避難計画を県民に説明する県主体の説明会の開催などを求めた。畑議長に対しては、40年超原発の再稼働の取りやめなどを求める陳情や請願をした。オ

ール福井反原発連絡会の林広員さんは「蒸気発生器の損傷など原発では故障や事故が多発し、コロナ禍で避難計画にも不安がある」と訴えた。

【岩間理紀】



40年超原発の再稼働に慎重な判断を求める陳情書などを提出する市民団体のメンバーら＝福井市の県議会で